

不動明王坐像

不動明王は足を組み、恐ろしげな表情を浮かべてこちらを睨みつけている。不動明王は五大明王の中でも最も力が強く、最も重要な明王である。その力はおそらく、不動明王が五大明王のうちの一人であるだけでなく、大日如来の化身でもあるということからきているのであろう。大日如来は宇宙の仏陀であり、万物の中心となる存在である。不動明王の表情は恐ろしいが、その手に持った鞭と剣もまた恐ろしい。これらの武器には目的がある。剣は、柄のところで先が複数に分かれたヴァジュラと呼ばれる儀式用の道具とつながっていて、仏教の教えの浸透する力や、信者が悟りに到達することを邪魔する妄想を切り裂く力を象徴している。ロープは、不信心者を仏教の教えに導くことを象徴している。不動明王の表情には、信者を救済の道から踏み外させようとする欺瞞に対する正義の怒りが表れている。実際、その恐ろしげな外見にもかかわらず、不動明王は実際には善良な神であり、仁和寺が属している真言宗において重要な神であるだけでなく、その他の多くの仏教の宗派においても重要な神として位置付けられている。